

平成 17 年 11 月 15 日

各 位

株式会社 アプリックス

東京都新宿区西早稲田二丁目 18 番 18 号
(コード番号：3727 東証マザーズ)
代表者 代表取締役社長 郡山 龍
問合せ先 執行役員 経営企画室室長 杉浦 慶枝
電話番号 03-5286-8436 (経営企画室)

平成 17 年 12 月期連結および単体業績予想修正に関するお知らせ

当社は、平成 17 年 12 月期（平成 17 年 1 月 1 日から平成 17 年 12 月 31 日まで）連結および単体業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 17 年 12 月期単体業績予想の修正

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,865	914	538
今回修正予想 (B)	4,800	600	300
増減額 (B-A)	△65	△314	△238
増減率 (%)	△1.3	△34.4	△44.2
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 12 月期)	3,541	471	273

2. 平成 17 年 12 月期連結業績予想の修正

	売上高	経常利益 (△経常損失)	当期純利益 (△当期純損失)
前回発表予想 (A)	5,921	△2,516	△2,998
今回修正予想 (B)	5,200	△3,030	△3,330
増減額 (B-A)	△721	△514	△332
増減率 (%)	△12.2	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 12 月期)	3,678	△1,411	△1,594

3. 修正の理由

単体業績予想においては、携帯電話向けの製品の海外出荷台数が大きく成長を見せている一方で、一部の顧客向けで来期以降に売上がずれこむ可能性が高い案件が出てきていること、携帯電話以外の機器では高成長は持続しているものの当社の期初の想定を下回っていることから、売上高についてはほぼ期初の計画の範囲で推移するものと思われま。一方、費用面においてはミドルウェア・フレームワーク等の新規事業への先行的な投資に伴う研究開発費ならびに外注費が約 3 億円発生し、売上高が期初の想定の水準で推移していることから、利益面で約 3 億円の減額修正といたしました。

連結においては、中国における第三世代の携帯電話免許交付が当社の想定よりも遅れていること、中国における端末メーカー間の競争激化による中国の各メーカーの出荷数が伸び悩んでいること、携帯電話以外の機器では高成長は持続しているものの、当社の期初の想定を下回っていること、一部の顧客向けで来期以降に売上がずれこむ可能性が高い案件が出てきていること、などにより、売上高は期初の計画の 5,921 百万円に対し、5,200 百万円に留まる見通しであります。一方、費用面においては単体での先行投資によるコスト増が見られましたが、コスト削減努力により、営業費用はほぼ期初の想定と同水準で推移しております。しかしながら、連結売上高減少により、連結経常損失は 514 百万円、連結当期純損失は 332 百万円増加する見込みとなりました。

4. 営業損益および償却前営業利益の公表について

当社の経常的な営業活動につき、投資家の皆様のご理解を深めていただくために、平成 17 年 12 月期通期単体および連結業績予想につきましては、売上高、経常利益および当期純利益の予想額に加え、営業利益および償却前営業利益の予想額を合わせて公表いたします。

当社の平成 17 年 12 月期連結業績については、連結調整勘定償却額（いわゆる「のれん代」）が 3,692 百万円含まれる見込みであり、赤字予想の主要因となっております。

（単位：百万円）

	売上高	償却前 営業利益	営業利益 (△営業損失)	経常利益 (△経常損失)	当期純利益 (△当期純損失)
単体通期業績予想	4,800	1,080	530	600	300
連結通期業績予想	5,200	1,192	△3,100	△3,030	△3,330

※ 単体償却前営業利益は、営業損益から減価償却費の見込み額 550 百万円を除いたものです。

※ 連結償却前営業利益は、営業損益から減価償却費の見込み額 600 百万円ならびに連結調整勘定償却の見込み額 3,692 百万円を除いたものです。

以 上